

初詣 節分
衣替え

ひな祭り
土用
酉の市

端午の節供、
神無月
お花見
お月見
お盆
おことはじめ



春夏秋冬の
年中行事

日本の
暮らしと伝統
新谷尚紀著

初詣、節分、ひな祭り、お花見、端午の節供、衣替え、土用、お盆、お月見、神無月、酉の市、おことはじめ…。

12ヶ月でたどる
季節の伝統行事

吉川弘文館
定価(本体2,400円+税)

新谷尚紀著

定価 2640円 (10%税込)

A5判・並製・カバー装・264頁
978-4-642-08486-4

初詣・端午の節供・お月見・煤払い…。古来、日本では季節に応じたさまざまな年中行事が営まれてきた。春夏秋冬、月ごとの伝統行事のはじまりと時代とともに変化を、全国各地の事例を紹介しながらたどり、いまも私たちの暮らしに息づくすがたを描く。歴史の中に培われ、生活を豊かにする知恵と技能が詰まつた伝統としきたりをやさしく解説する。

春夏秋冬の 年中行事

日本の
暮らしと伝統

2025年
12月発売

吉川弘文館

新谷尚紀 (しんたに たかのり)

1948年、広島県生まれ
1981年、早稲田大学大学院史学専攻博士
後期課程単位取得退学
1998年、社会学博士（慶應義塾大学）
現在、国立歴史民俗博物館名誉教授、
総合研究大学院大学名誉教授

著者紹介

【主要著書】

『伊勢神宮と出雲大社』(講談社、2009年)、『お葬式』(吉川弘文館、2009年)、『民俗学とは何か』(吉川弘文館、2011年)、『葬式は誰がするのか』(吉川弘文館、2015年)、『神社の起源と歴史』(吉川弘文館、2021年)、『遠野物語と柳田國男』(吉川弘文館、2022年)、『政治の米・経済の米・文化の米』(山川出版社、2025年)

12ヶ月でたどる季節の伝統行事

主な内容

序 历と年中行事
はじめに
年中行事／歳時記

自然暦と人工暦

一年・一月・一日／閏月と二十四節氣／
暦の歴史／西洋暦の採用
月の満ち欠けと上弦・下弦／一年両分

月の満ち欠けと一年両分

月の満ち欠けと上弦・下弦／一年両分
暦の歴史／西洋暦の採用
月の満ち欠けと上弦・下弦／一年両分

第一章 正月とその意味

正月は年取り

米と餅
年神の信仰
正月料理

小正月は豊穣祈願

小正月の予祝行事
小正月の習俗

第二章 春から夏への行事
二月の行事—節分と豊穣祈願

節分
初牛と稻荷
田遊び

三月の行事—ひな祭りと人形
ひな祭り
曲水の宴
彼岸



疫鬼
(「新訂増補 国史大系28 政事要略」より)



〔類聚雜要抄〕より鏡餅
(東京国立博物館所蔵／出典：CoLoBase)

六月の行事—梅雨と祓えの思想
衣替え
梅雨
夏越の祓え

第三章 秋から冬への行事

七月の行事—七夕の歴史と民俗

七夕
中元
土用

八月の行事—死者を迎える盆

お盆
八朔

九月の行事—台風と月見

二百十日と台風
重陽の節供

月見
敬老の日

十月の行事—動く神々

神無月と神在祭
スポーツの秋

十一月の行事—稻の神聖な儀式

新嘗祭
七五三
酉の市

十二月の行事—新しい年へ

冬至
笑い講
煤払い

コト八日
おことはじめ

五月の行事—桜と日本人
端午の節供と田植え

花見
卯月八日

四月の行事—桜と日本人

ひな祭り
曲水の宴
彼岸

虫送り
田植え
端午節供



（秋川広重、名所江戸百景
デジタルコレクション）



（秋川広重、名所江戸百景
デジタルコレクション）



たなばたの真菰馬（群馬県館林市）
(「日本民俗大辞典」下巻より)



吉川弘文館

〒113-0033・東京都文京区本郷7-2-8 [URL] <https://www.yoshikawa-k.co.jp/>
電話 03-3813-9151(代表) / FAX 03-3812-3544 / 振替 00100-5-244



キリトリ線

『春夏秋冬の年中行事』を(冊)注文します。

978-4-642-08486-4

注文書

お名前

お電話

ご住所 〒

●吉川弘文館 特約書店名

'25.12